

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成17、18年度採択)

中間評価結果(公表用)

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	多機能検査車走行による道路構造物の健全性評価	京都大学大学院 教授 杉浦 邦征	C

< 研究継続の妥当性評価 >

- ・ 当初予定した実用的な多機能検査車の開発は困難な状況であることから、平成19年度は振動特性の計測から得られる橋梁の応答評価に注力するよう計画を修正する必要がある。

< 修正内容 >

1. 当初予定した実用的な多機能検査車の開発は困難な状況であるため、検査車両を試作することは認められない。
2. 走行車両から供用下の道路橋の振動特性を評価する手法に関する知見や、橋梁の状態評価を実現するために解決すべき課題、求められる技術水準(精度など)を体系的に取りまとめることを目標として、研究項目を絞り込んだ研究計画を再提出して頂きたい。